

<資料3>

令和5年度 藤枝市行政サービス評価委員会

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート



# ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

## ①コンパクト+ネットワークなまちを創る

数値目標	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
中心市街地区域内の居住人口★	11,233人	11,071人	11,246人	101.6%	再開発事業による直接的な住宅供給とともに、商業店舗等の誘導による都市機能の集積を推進することで、暮らしやすさを向上させ、民間マンション開発の誘導を図る。併せて、空き家活用・流通促進事業等による移住・定住支援を実施し、中心市街地の居住人口の増加を図る。
中山間地域における交流人口★	343,000人	329,000人	237,456人	72.2%	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中山間地域の活性化施設間で本格的に連携した策が打てず、交流人口はコロナ前までに回復していない。スタンプラリー等の各施設連携した利用促進策、アートワーケーション事業、びく石ふれあい広場でのせとや陶芸村宿泊・滞在拠点整備事業等を行い、交流人口の拡大を図っていく。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
1	中心市街地区域内の従業者数★	1,470人	1,420人	1,420人	100.0%	静岡地方税滞納整理機構誘導事業や、再開発事業における商業施設や事業所等の誘致により、中心市街地への新規事業所の進出を促進し、中心市街地区域内の従業者数の増加を図る。
2	中心市街地区域内のイベント来場者数★	62,000人	62,000人	20,299人	32.7%	コロナ禍により規模を縮小しての実施を余儀なくされ、また、外出自粛マインドも影響し、イベント来場者数が減少した。今後は、一旦中止されたイベントの再開やさらなる拡大、ニーズを捉えた内容のブラッシュアップによる魅力的なイベント開催により、中心市街地区域内のイベント来場者数の増加を図る。
3	産業用地確保面積【R2年度より累計】★	5ha	-	6.1ha	122.0%	引き続き、新産業地ゾーン、工業系低未利用地などの開発可能性、新たな工業用地の確保に向けた検討を行う。
4	中山間地域における移住支援策を活用した市外からの移住者数【H23年度より累計】★	128人	106人	98人	92.5%	さとやママと連携しながら、首都圏開催の移住相談会での移住相談や、現地案内等によりきめ細やか移住希望者への支援を行う。また、空き家バンク推進事業により、紹介物件の登録や移住希望者の利用者登録、更には家屋の改修費用や市外からの移転費用の支援を行い、移住・定住を促進していく。
5	田舎暮らし体験施設等の利用者数【H28年度より累計】★	9,500人	7,500人	7,319人	97.6%	田舎暮らし体験施設「やまあい」及び「ひだまり」において、施設運営団体が実施する体験プログラムへの助成など、施設の魅力向上に向けた取組を支援し、利用者の増加に繋げていく。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
6	蓮華寺池公園への年間入込客数★	170万人	164万人	120万人	73.2%	蓮華寺サポーターとの協働による魅力発信とともに、蓮華寺池公園と岡出山公園をつなげる回遊ルートとなる「岡出山小路」を整備することで、来園者数の増加を図る。また、総務省「地域活性化起業人制度」を活用し、合同会社DMM.comから派遣された民間外部人材とともに、女性や若い世代のさらなる誘客につなげる仕掛けづくりや音楽イベントなどの誘致を進める。
7	協働で元気なまちづくり事業実施数	75件	75件	71件	94.7%	地域の課題解決のため、地域から提案された事業を実施、または補助する「協働で元気なまちづくり事業」について、引き続き、自治協力委員会や各地区交流センターを通じて周知に努める。
8	広域幹線道路(主要3路線)の平均通行時間★	13.3分	13.6分	13.3分	102.3%	通勤時間帯の広域幹線道路の渋滞状況を把握し、着手事業の効果的な事業展開や、短期的に効果が発現する対策案を検討し、有効性や可能性の高いものから実施する。
9	生活道路の整備率(幅員4m以上)★	68.6%	68.2%	68.0%	99.7%	整備計画に基づき、適切な事業実施と進捗管理を行っていく。また定期的に地元要望により整備計画を見直し、効果的に事業を進めていく。
10	路線バスと乗合タクシーの利用者数★	1,407千人	1,370千人	1,025千人	74.8%	利用者がより安全・安心に利用できるよう、バス等の感染症等安全対策を行うとともに、利用状況の推移及び地域住民のニーズを注視し、地域事情、利用者ニーズにあった路線の充実を図る。また、様々なイベントにおいて公共交通のPRを実施する。
11	中心市街地の歩行者通行量★	10,820人	10,273人	8,361人	81.4%	フジキチや駅前二丁目市有地有効活用事業による新たなビジネス拠点など各拠点の往来、空き店舗の解消により開店した店舗の利用、再開発事業による新規居住者等の往来により、中心市街地の昼間の歩行者通行量の増加を図る。
12	花回廊事業で活動した団体数★	330団体	323団体	337団体	104.3%	花と緑あふれる都市空間創出のため、引き続き花の情報発信を行い、新たな緑化団体の掘りおこしを行う。また、緑化団体の持続性確保のため、各団体の実施する植栽活動をサポートする取り組みを検討する。
13	藤枝駅周辺の景観に対する好感度★	80.0%	72.6%	91.8%	126.4%	市民アンケートにより、目標値を上回る実績を得ているため、令和6年度の藤枝駅周辺地区の景観形成重点地区の指定に向けて取り組んでいく。
14	助成支援による空き家解消件数【H30年度より累計】	550件	386件	590件	152.8%	空き家(中古住宅)の購入費等について補助する「空き家活用・流通促進事業費補助金」制度創設以降、補助活用件数も増加し空き家解消件数も増加している。今後は、さらに増加して行くことを想定し予算を確保していく。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
15	市全体のCO <sub>2</sub> の排出量 ※「都道府県別エネルギー消費統計」等により算出★	847.5千t	881.6千t	879.7千t	100.2%	事業者による再生可能エネルギーの導入と省エネルギー活動を推進するため、普及啓発や取組支援を強化する。 公共施設の照明のLED化を計画的に進めていく。
16	家庭から排出される燃やすごみ 市民1人1日あたりの排出量	401g	403g	404g	99.8%	①ごみ減量資源化説明会を効果的に行うため、違反ごみや排出量が多い地区で開催し、住民意識を高める ②生ごみ処理機やディスポーザーの補助制度を周知し、導入促進を図る
17	生ごみ分別回収量★	1,890t	1,260t	1,113t	88.3%	燃やすごみに含まれている生ごみの分別徹底を引き続き指導し、減量化に取り組んでいく。ごみ処理機やディスポーザーの補助制度を周知し、導入促進を図る。
18	コンビニエコバック利用者数 【R2年度より累計】	300人	200人	630人	315.0%	今後も引き続きマイバッグの推進をはじめとした啓発を行い、更なる利用の促進を図る。 コンビニだけでなく、消費者全体への周知を図る必要がある。
19	災害時情報配信システム登録人数 ★	9,000人	8,500人	15,077人	177.4%	市独自の防災アプリ「藤枝市防災」の導入により、登録者数は飛躍的に増加したが、今後もより多くの市民に活用いただけるよう、台風への備えとしての活用を促すなど、研修会や会議、広報誌等あらゆる機会でも周知を行う。
20	緊急時に優先的に交通確保 が必要な橋梁の耐震化率 【H27年度より累計】	100%	64.3%	64.3%	100.0%	橋梁耐震化工事が必要な14橋について、令和4年度末9件実施済である。 財源についてはR2年度から補助化されたため、当面は安定した内示率を得ることができると思われるが、事業の円滑な執行に向け、河川管理者との協議や地元調整等を積極的に進めていく。
21	耐震性が劣る住宅数	3,200戸	4,265戸	3,637戸	117.3%	実績値は目標値を上回る結果となった。 引き続き耐震化を促進するために、対象者に対してダイレクトメールや戸別訪問により耐震化の重要性を説明し、耐震補強工事を促していく。
22	マイ・タイムライン研修会に参加した 住民のマイ・タイムライン作成率★	100%	65.3%	69.2%	106.5%	マイ・タイムラインの普及手法については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点とマイ・タイムラインの重要性を早急に伝えるため、ワークショップ形式(研修会)から、わかりやすい手順書を添えて対象世帯に配布し作成をお願いする手法に切り替えた。今後は作成状況を把握し、未作成世帯の多い地域で出前講座を開催するなど、作成率の向上に努める。
23	藤枝市水位・雨量観測システム 閲覧件数★	10,000件	6,800件	30,842件	453.6%	当指標については累計による指標である。平成30年2,152件、令和元年8,071件、令和2年11,037件、令和3年13,356件、令和4年30,842件。これは住民の防災意識向上により閲覧件数が増えたものである。また、令和4年は台風15号の襲来により例年に比べ更に閲覧件数が増えた。 今後も引き続き当システムの利用(閲覧)を促し、住民が確実に避難行動をとるよう更なる避難行動啓発に努める。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
24	防災訓練に参加した市民の割合★	30.5%	29.9%	21.5%	71.9%	自主防災会の防災力の向上を目的として、夜間に災害が発生したことを想定した総合防災訓練を初めて実施するなど、市民が関心が高い訓練を実施することで参加率の向上を図る。
25	高齢者の人身交通事故発生件数★	205件	228件	224件	101.8%	自動車学校と連携した高齢者交通安全教室にサポートカー体験を取り入れ更なる充実を図るとともに、高齢者運転経歴証明書手数料助成金交付事業、高齢者運転免許証自主返納促進事業等を通じ高齢者が関係する人身事故発生件数の抑制を目指す。
26	高齢者の運転免許証自主返納者数	850件	750件	738件	98.4%	実績値は目標値を下回る結果となった。 事故防止のための早期返納奨励と支援事業のPRに一層つとめ、返納後も安全に、安心して移動が楽しめる代替手段等の周知を図る。
27	登下校時における小学生・中学生の交通事故発生件数★	0件	0件	10件	0.0%	交通安全リーダーと語る会、登校街頭指導、交通安全キャラクターを活用した交通安全啓発活動等を通じ、小・中学生の交通安全意識を高揚させ、事故抑制を図る。
28	人身交通事故発生件数★	825件	875件	597件	146.6%	交通事故全体の件数は年々減少傾向にあるが、出会い頭の事故や死亡事故が発生しており、更なる交通安全意識の向上と事故防止施策を実施する。

# ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

## ②産業としごとを創る

数値目標	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
創業者数(第1期は創業支援件数で管理) 【H27年度より累計】★	1,090件	854件	855件	100.1%	起業希望者のニーズに合ったセミナーなど起業に向けての活動を支援するとともに、支援機関と連携しながら地域全体で起業しやすい環境を構築する。
市税収入額 【H30を100とした割合】	106%	104%	67.1%	64.5%	長引くコロナ禍に加え、半導体不足、円安、ロシア・ウクライナ等の社会情勢により原油や原材料価格の高騰が経済活動に影響を及ぼしているため、引き続き企業訪問等を強化し、ニーズに対応した伴走型の支援に取り組んでいく。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
29	経営革新計画承認件数 【H27年度より累計】★	75件	64件	75件	117.2%	実績値は目標値を大きく上回る結果となった。 引き続き、中小企業の新たなチャレンジを支援するため、産業コーディネーターをはじめとした各支援機関と連携を図っていく。
30	小規模事業者の事業計画策定件数 【R2年度より累計】★	555件	315件	302件	95.9%	今後は、商工会議所や商工会との連携をさらに密にし、効果的な事業の促進に努めていく。
31	FEG支援センター「エフドア」相談者と事業者、他支援機関とのマッチング件数【R2年度より累計】★	120件	66件	106件	160.6%	実績値は目標値を大きく上回る結果となった。 引き続き、各機関の役割のもと、地域内外の多様な企業・人・商品・情報等の資源をつなぎ、持続的発展を促す。
32	農商工連携製品創出数 【H23年度より累計】★	105件	90件	103件	114.4%	引き続き、農作物を加工し価値を高めて収益を上げるなど、事業者間のマッチングを模索し、売れる商品づくりを支援する。
33	海外企業の引き合わせ(マッチング)件数【H30年度より累計】★	70件	50件	63件	126.0%	実績値は目標値を大きく上回る結果となった。 海外での商談会を活用しマッチング機会の創出に努めるとともに、商工会議所等と連携して海外販路開拓セミナーや勉強会を開催し、市内事業者の積極的な事業参加を促す。
34	農用地利用集積面積 【S55年度より累計】★	1,160ha	1,053ha	1,055.2ha	100.2%	県や農地中間管理機構、JAと連携して、「地域計画」策定に向けた取り組みを推進するとともに、農地流動化専門員によるきめ細やかな農地のマッチングを推進する。
35	有害鳥獣による農作物被害額★	10,300千円	11,635千円	8,834千円	124.1%	「鳥獣被害対策実施隊」を中心に、地域住民・部農会等と連携し、「藤枝市鳥獣被害防止計画」に基づく「個体管理」「被害防除」「生息環境管理」の3つの総合的な取り組みにより農作物被害額の軽減を図る。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
36	認定新規就農者育成目標数到達率★	100%	92.6%	111.1%	120.0%	新規就農希望者の相談窓口となる「農業ワンストップ支援窓口」を広くPRするとともに、ワンストップ窓口における相談対応、新規就農者に対する補助制度等のPRを推進することで、新たな担い手の掘り起こしを行い、新規就農者の確保を図る。
37	商店街魅力アップ事業活用件数【R1年度より累計】★	65件	44件	57件	129.5%	コロナ禍で縮小していた商店街のイベント等も増加見込まれることから、事業者へ補助制度の積極的な活用を促し、商店街の活性化を図る。
38	空き店舗等開業支援事業利用件数【R1年度より累計】★	75件	54件	77件	142.6%	宅建協会や不動産業者、金融機関に、「空き店舗等開業支援事業」の制度内容に関する情報提供を行い、周知に努めるとともに、空き店舗など遊休資産の利用を考えている新規出店者の支援を継続して行う。
39	リカレント教育等受講者数【R2年度より累計】	600人	330人	466人	141.2%	令和4年度より、藤枝市民大学の「リカレント教育コース」として再構築を行った。今後は、講座内容の充実など、“地域を担う人づくりの強化”に向けた取組を行う。
40	高校生対象合同企業説明会参加者数【R2年度より累計】★	4,750人	2,610人	1,858人	71.2%	少子化や社会情勢の影響もあり、高校卒業後すぐに就職するよりも大学に進学する学生が増えており目標値には届かなかったが、495人も学生が参加しているため、事業は継続していく。今後は、志太3市から3市以外の高校へ通学する学生や、志太3市以外の高校から3市の企業へ就職する学生もいるため、エリアを拡大した就職支援及び地元企業の人材確保を図る。
41	連携大学から市内企業へ就職した学生数★	80人	73人	72人	98.6%	首都圏等からの企業誘導や地域産業のオープンイノベーション、起業・創業を推進し、魅力ある就労環境づくりを進めるとともに、市内企業への社労士等の専門家を派遣し、働きやすい職場環境づくりを行い、地域で働く魅力の向上を図る。
42	労働環境改善事業を活用した施設改善等の事業所数【R1年度より累計】★	36事業所	24事業所	26事業所	108.3%	労働環境の改善は労働者の定着につながることから、環境整備補助金の周知を徹底するとともに、働き方改革を支援するアドバイザー派遣事業も併せて周知することで、市内企業の「働きやすい職場環境づくり」をハード・ソフト両面で支援する。
43	シルバー人材センター登録者数	1,235人	1,105人	797人	72.1%	再雇用制度により60代の会員確保が難しい状況にある。会員確保のため、シルバー人材センターと協力し、広報誌等を活用したり、市の主催するシニア就労相談会に参加してもらい、高齢者への周知を図る。
44	福祉施設利用者の一般企業等に就職した人数★	21人	19人	11人	57.9%	産業政策課やハローワーク等関係機関と連携し、企業での障害者雇用の促進に努めるとともに、障害者テレワークオフィス事業等市の取り組みをPRし、利用企業を増やすよう努める。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
45	女性の創業支援者数【H27年度より累計】★	785人	636人	610人	95.9%	広報紙、ホームページ、市やエフドアのSNS等を活用し、情報発信方法を工夫して受講者の増加を図りつつ、創業者の増加につながる講座内容に見直していく。
46	個別最適化に向けた実証実験の件数【R2年度より累計】	10件	6件	13件	216.7%	今後は、本市の地域課題解決と連動して地域ビジネスの創出と市内産業の成長を促進するため、首都圏企業の持つ技術や人材等を活用し、地元企業との協働を図る仕組みを産業振興部を中心に検討・推進する。
47	フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト参加企業数【H20年度より累計】	75社	71社	105社	147.9%	実績値は目標値を上回る結果となった。プロジェクトの成果を活用しながら効果的に実施事業のPRを行い、プロジェクト参加企業数の増加を図る。
48	企業立地件数【H23年度より累計】★	103件	95件	101件	106.3%	企業訪問等による企業ニーズの把握・対応を進め、県、企業及び金融機関等との連携強化により、本社機能を有するオフィスの立地を含めた企業立地を推進する。
49	企業立地優遇制度による設備投資額【H23年度より累計】★	577億円	497億円	621億円	124.9%	優遇制度により企業の初期投資を軽減し、企業立地を推進する。
50	食と農アンテナエリア内農業法人等誘致件数【H30年度より累計】	4件	2件	1件	50.0%	滞在型(生産型)市民農園の誘致を推進していく。食農コーディネーターと連動し、食農分野の産業誘導に取り組んでいく。
51	クラウドソーシングを活用した市内企業数	18件	16件	9件	56.3%	クラウドソーシングに対する理解不足により活用しないケースや、仕事を発注しても市民ランサーのスキル不足により、受注に至らない案件があった。市民ランサーのスキルに応じて体系的な育成メニューを整備するとともに、市内企業のクラウドソーシング活用に向けたコンサルティングを行い、活用を促していく。
52	事業により育成したICT人材と市内企業のマッチング数【R2年度より累計】	50件	30件	38件	126.7%	実績値は目標値を大きく上回る結果となった。企業のニーズに即したICTスキル等を取得するためのセミナーや勉強会を開催し、デジタル人材を育成することにより地元企業のDX化を推進しているが、DX化を目指す企業もあればデジタルを基礎から学びたい企業もあるため、それぞれの課題やニーズに合わせた人材育成プログラムの構築が必要である。



# ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

## ③ひとの流れを創る

数値目標	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
年間観光交流客数★	2,570,000人	2,550,000人	1,578,583人	61.9%	藤枝花火大会などの市民イベントに加え、令和5年度に行われる「藤枝大祭り」や「朝比奈大龍勢」を広く発信するとともに、Jリーグアウェイツーリズム、家康関連事業、サイクルツーリズムなど気運を捉えた事業を実施し、国内外からの誘客を促進し来訪人口の拡大を図る。
転入者数★	4,930人	4,851人	4,278人	88.2%	規制緩和の推進や土地利用構想における重点地区のまちづくりを推進することにより、民間投資を積極的に呼び込み、新たな住宅供給を図る。併せて、旧市街地等の再開発を推進し、多様な移住ニーズに応えられるよう環境整備を行う。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
53	移住支援策を活用した市外からの移住者数【H30年度より累計】★	2,520人	1,800人	2,231人	123.9%	コロナ禍が収束に向かう中、対面によるイベントやセミナーを開催するとともに、移住希望者等が登録するポータルサイトを活用してダイレクトに連絡をとりあうなど、情報発信を強化することに加え、宿泊補助と市内案内を組み合わせ「移住プログラム」を実施し、移住相談者に実際に本市を訪れていただく。
54	子育て世代(20～40代)の転入者数	3,310人	3,257人	2,994人	92.9%	20代は前年より微増であったが、30代・40代が減少し、目標達成出来なかった。今後は、再開発を含む民間事業の積極的な誘導や優良田園住宅制度の拡大により魅力的な住宅供給を行うとともに、首都圏企業誘導による新たな雇用創出や子育て・教育環境の充実など移住者への訴求力を強化していく。
55	県外からの転入者数	1980人	1,946人	1,928人	99.1%	目標はわずかに達成出来なかったものの、昨年度より約250人増加した。移住者に寄り添うきめ細やかな移住相談事業を実施するとともに、コロナ禍により、社会情勢や労働環境が大きく変化したことから、首都圏から地方への移住ニーズは高まっていると考えられるため、ICT・デジタル活用を基軸としたまちづくりによる労働環境の整備に加え、規制緩和や旧市街地再開発等により新たな住宅供給を生み出し、多様な移住ニーズに応える環境整備を行う。
56	本市にかかわりを持った首都圏大学の学生数【H30年度より累計】★	200人	137人	122人	89.1%	首都圏大学の学生が市内で行うフィールドワークの実効性向上や地域への理解度向上に繋げるため、地域のキーパーソンや地域の学生との交流が行われるよう適切に支援を行う。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
57	年間宿泊客数★	239,500人	238,500人	236,382人	99.1%	令和5年度から実施する「藤枝市プロスポーツの試合観戦者宿泊費助成金」と最大3,000円に増額したスポーツ合宿等宿泊への補助制度を積極的にPRするとともに、宿泊事業者と共同で「藤枝大祭り体験オプション付き宿泊」や「ティーツーリズム付き宿泊プラン」などを企画し宿泊増を目指す。
58	外国人観光交流客数★	45,000人	44,000人	5,336人	12.1%	航空便の就航や訪日需要、渡航制限などの規制の状況を見極める中で、外国人個人旅行者（FIT）をターゲットとした効果的な観光プロモーションでインバウンド客の回復を目指す。
59	観光ボランティア案内件数★	61件	57件	33件	57.9%	新型コロナの影響により、旧岡部宿や旧藤枝宿などで行っているガイドツアーの周知及び認知度を上げる取組を進められず利用が少なかったため、その認知度向上を図り観光客がガイドを活用しやすい環境を作る。その上で市民や地域団体と観光ボランティアガイド、通訳ガイドなどが連携して観光施設や地域資源の魅力を伝えられる態勢を整え来訪者へのおもてなしなど、より本市を楽しんでもらえる環境を提供する。
60	体験型観光プログラム参加者満足度★	90%	90%	98%	108.9%	藤枝型まちづくり観光イベント「藤枝おんぱく」における体験型プログラムのブラッシュアップにより、プログラム内容の充実に努めることで、参加者満足度の向上を図る。
61	拠点施設（瀬戸谷温泉と陶芸センター）の利用者数★	196,000人	190,000人	153,703人	80.9%	「ふじえだ陶芸村構想」の推進により、アーティスト・イン・レジデンスを始めとする陶芸・芸術を核とした地域活性化事業の展開、またこうした事業から派生する新たな取組を支援・育成することにより、中山間地域全体の交流人口・関係人口の更なる増加を図り、施設利用者数の増加に繋げていく。
62	国内友好都市交流件数★	63件	61件	32件	52.5%	新型コロナウイルス感染症や台風などの災害等により、当初計画していた対面による交流が実施できなかったが、コロナ禍が収束に向かう中、対面交流再開に向け、市民や民間団体等に対して都市交流補助制度をPRするとともに、関係課と連携して、交流事業に参加し、新たな交流等を生み出す。
63	国外姉妹都市等交流件数★	21件	19人	16件	84.2%	新型コロナウイルス感染症等により、当初計画していた対面による交流が実施できなかったが、オンラインでの交流を継続するとともに、現地訪問・研修等を行い、対面による交流再開を検討する。
64	街道遺産来訪者数★	66,800人	65,800人	63,479人	96.5%	街道遺産（志太郡衙資料館、田中城下屋敷、千貫堤・瀬戸染飯伝承館、岡部宿大旅籠柏屋）において、施設を回遊させるためのスタンプラリーの実施や、魅力ある企画展や各種施設を効果的に活用した催事を実施することで、来訪者数の増加を図る。 新型コロナによる影響から回復傾向がみられ来訪者数が徐々に戻りつつあるため、身近な歴史文化資源に来訪する機会の創出と大河ドラマ「どうする家康」をきっかけとした来訪者拡大につながるよう、引き続き工夫をしてイベント等事業を実施する。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
65	サッカーに携わる人の数 (サッカー協議会登録者数)★	3,830人	3,789人	3,740人	98.7%	年齢や性別、障害の有無、男女問わず幅広い世代でサッカーが楽しめる環境の整備を推進し、選手だけでなく指導者やレフェリー等サッカーに携わる人を増やしていく。
66	女子サッカーの競技人数 (サッカー協会選手登録者数)★	230人	221人	231人	104.5%	藤枝なでしこ広場や藤枝なでしこデーなどの女子サッカーの普及に注力し、幼児～小学生の女儿がサッカーを始めやすい環境を作るとともに、藤枝出身のトップ選手が輩出されるよう環境整備に取り組んでいく。
67	茶改植等面積★	12.7ha	10.7ha	16.3ha	152.3%	引き続き、JAと連携しながら国の茶改植等事業、茶園集積推進事業等を活用し、お茶の高品質化と効率的な茶業経営の推進を図る。
68	藤枝ジュニアお茶博士認定数★	500人	429人	417人	97.2%	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和5年1月に開催した「茶レンジ藤枝ジュニアお茶博士認定講座」の認定者数が伸びなかった。今後は、茶産地に近い小学校を中心に、通知等による活動実績の周知を行い推進を図る。
69	市ホームページ閲覧数	1,845,000件	1,805,000件	3,290,549件	182.3%	PRTIMESを活用し、全国へ本市の市政情報や魅力を発信することで、市の情報発信の中心を担うHPへの誘導とシティブランディングに貢献する。
70	福祉活動を行う市民団体数★	245団体	235団体	178団体	75.7%	R4年度はR3年度の登録団体数と比較し6団体増加。(R3年度は172団体登録) 市内でボランティア活動をしている団体は、社会福祉協議会のボランティア保険に加入できることを社協だよりやホームページで周知し、新規の団体登録数の増加に努める。
71	福祉活動を行う市民の数★	4,900人	4,860人	4,636人	95.4%	R4年度はR3年度の活動者数と比較し534人増加。(R3年度は4,102団体登録) 市内でボランティア活動をしている方は、社会福祉協議会のボランティア保険に加入できることを社協だよりやホームページで周知し、新規の登録者数の増加に努める。
72	要支援要介護認定を受けていない 高齢者の割合★	84.6%	84.6%	83.5%	98.7%	コロナ禍が続く外出の機会が限られたり、外出を控えていた方もいたことから、高齢者の閉じこもりによるフレイルの進行を予防するため、介護予防活動を行う。
73	地域支え合い介護予防教室の数★	45カ所	35カ所	25カ所	71.4%	地域的に広がり推進し、活動を継続して行っていけるよう、新たな担い手の創出を促進する。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
74	在宅看取者数 (死因のうち、自殺を除く)★	245人	244人	359人	147.0%	在宅で療養を継続できるよう医療と介護の連携システムを推進し、住まいでの看取りを支援していく。
75	地域支え合い「出かけっCAR」 サービス実施地区★	6地区	6地区	5地区	83.3%	実績値は目標値に届かなかったが、新たな地域での実施準備を行った。 今後、新たな地区の選定に向け地元と協議を継続していく。
76	自立相談支援事業利用者の就労件数	75件	60件	35件	58.3%	相談者に高齢の方や障害(疑いも含む)を持つ方も増えていることから、相談者に合った就労先を見つけていくことに時間を要している。公共職業安定所だけでなく、派遣会社、福祉サービスの事業所等、さらに幅広い関係機関と連携しながら支援を行っていく。
77	生活困窮世帯の子供の高校進学率★	100%	100%	100%	100.0%	参加している中学三年生12人全員が受験校に合格しているが、全員が志望校に受験し合格できるように指導を行うとともに、より多くの参加者を募ったうえで同水準の合格率を達成できるよう委託事業者と連携して事業を進めていく。また、参加者を増加させるため、開講場所や回数、送迎の充実や参加者への相談サポートなどより参加しやすい環境となるよう委託事業者と連携する。
78	市内犯罪発生件数★	505件	515件	423件	121.7%	各防犯関係団体の防犯活動に加え、見守り防犯カメラの設置費の助成による防犯カメラの設置促進を図り、地域犯罪抑止効果を高める。

# ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

## ④ 健やかに暮らし活躍できるまちを創る

数値目標	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
出生数	1,100人	1,060人	750人	70.8%	新型コロナウイルス感染拡大に伴う全国的な出生数の減少と同様に、本市においても大きく減少し、目標値を達成することができなかった。 今後は、子育て応援・支援サービスの充実や安心して子育てできる環境づくりとともに子育て世帯への経済的支援の充実など産みたい希望を叶える環境づくりを整備していく
婚姻年間届出件数	550件	552件	463件	83.9%	R3年度(477件)から、わずかではあるが減少となった。 新型コロナウイルス感染拡大による出会いの場の喪失や経済的不安が影響を与えていると考えられるため、県と連携した出会いの場の創出推進や新婚世帯の経済的支援策の充実を図る。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
79	25歳から34歳までの市民の有配偶者率	45.0%	44.0%	40.1%	91.1%	未婚化・晩婚化が進展する一方、県の調査では、県内の20～34歳の独身者の約8割が結婚を希望しており、その理由は、「適当な相手に巡り合わない」が最も多かったことから、県や近隣市町をはじめ、企業等と連携し、出会いの機会を創出するとともに、安心して自信を持って婚活できるようスキルアップセミナー等を開催する。
80	地域子育て支援拠点(高洲地区交流センター等、市内の地域子育て支援センター14施設)の延べ利用者数★	126,000人	138,000人	105,984人	76.8%	実績値は目標値を下回る結果となった。 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症となったため、施設面積に応じて設定した定員を緩和し、施設ごとの定員の拡大を図ることで妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制を強化する。
81	保育所等利用者数★	2,920人	2,921人	2,739人	93.8%	実績値は目標値を下回ったが、待機児童はゼロを継続しているため、引き続き維持できるように利用定員を管理していく。
82	放課後児童クラブ利用者数★	1,645人	1,629人	1,511人	92.8%	えだっこ児童クラブにおいて、全小学校区の児童を対象とした通年利用と夏季限定利用の定員枠(各50人)をそれぞれ継続するとともに、R6に待機が生じる見込みのある小学校区において余裕教室や特別教室の確保を図り、待機児童の解消及び放課後児童の居場所づくりを推進する。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
83	乳幼児健診の受診率★	100%	100.0%	98.6%	98.6%	健診の受診勧奨を実施し未受診者には、訪問等により受診勧奨を行う。
84	不妊治療助成件数★	270件	253件	215件	85.0%	令和4年4月1日から、不妊治療の保険適用が開始し助成制度が移行した。令和3年度から継続して治療している方への確実な執行に努めるとともに、移行した制度や唯一助成している不育症について周知を徹底する。
85	発達に課題がある児童を支える「サポートファイル」利用者数【R1年度より累計】★	370人	320人	585人	182.8%	関係者に向け、情報共有の活用に向けてどのような取り組みが必要かアンケートを実施し、活用方法について再検討する。また、引き続き教育政策課、児童発達支援事業所、相談支援事業所等へ面談等で活用してもらえるよう依頼する。
86	子どもの居場所(子ども育成支援事業)利用児数★	1,200人	1,080人	823人	76.2%	令和5年度から年間200日以上と開催日を増やすことで事業実施団体と調整を行った。令和6年度以降は年間250日以上開催できるよう団体と連携し体制の整備を図る。 (※令和4年度:週4日または年間180日以上)
87	家庭児童(児童虐待・DV等)相談数(実人数)	530人	530人	778人	146.8%	実績値は目標値を上回る結果となった。引き続き、より良い相談支援が行えるようスキルアップを図っていく。
88	将来の夢や目標を持っている子どもの割合将来の夢や希望を持っている子供の割合※全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙で「将来の夢や希望をもっている」と答えた児童生徒の割合★	77.7%	77.3%	73.5%	95.2%	大学や地域との連携を利用したキャリア教育を中心に、教育活動全体を通して児童生徒が夢や希望をいただけるような取組を進めるとともに、児童生徒が夢や希望を語れるような学校・学年・学級経営を進めていく。
89	科学教室参加者数★	980人	890人	838人	94.2%	PepperやPC、工作道具などの教材や会場も限りがあるため、多人数参加での開催は厳しいが、科学技術に興味・関心を持つ子どものすそ野を更に広げていくため、子どもたちに多彩な選択肢を与えられるよう取り組んでいく。
90	英語で簡単な情報や考えなどを表現したり伝えたりすることができる中学3年生の割合※FCA、ALT、指導主事が全中学校を訪問し、中学校3年生の1クラスを抽出し、インタビューテストを行い、英語検定3級程度に到達している生徒の割合★	90.0%	80.0%	77.6%	97.0%	外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考え等を理解したり表現したりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
91	児童1人当たりの図書館での年間図書貸出数★	25.9冊	25.1冊	22.1冊	88.0%	令和4年9月30日から、開館時間や休館日にとらわれずに利用できる「ふじえだ電子図書館」を開始し、利用者の拡大を図ったが目標値を下回った。引き続き、藤枝市子ども読書活動推進計画(第四次)に基づき、各種事業を積極的に展開していくとともに、電子図書館に小中学生向けの「読み放題バック」を導入し、利用者の拡大を図っていく。
92	進んで挨拶ができる子供の割合	97.0%	93.0%	87.8%	94.4%	マナーブックの活用と、日常のあいさつ運動の充実を図り、子どもたちのあいさつへの意識の向上を図る。
93	幼稚園・保育園での親学講座年間受講者数★	1,070人	1,030人	445人	43.2%	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人を集める講座を取りやめる傾向が続き、開催を希望する園が減少したが、園における活動が回復傾向にあるため、新規講座の開設の検討等、講座内容の充実を図るとともに、引き続き幼稚園等へ周知していく。
94	学校が楽しいと感じている子どもの割合	92.0%	91.0%	91.4%	100.4%	ウィズコロナでの学校生活ではあるが、児童生徒が安心して学校に通える体制を整え、どの子どもも充実した学校生活を送れるような学習支援や生徒指導に取り組むよう各教員に働きかける。
95	給食食材への県内地場産品年間使用率★	40.5%	39.6%	38.2%	96.5%	食材を購入する際、市内産、静岡県産の食材を優先して購入することと、生産者から給食センターへの直接納入を推進する。 また、JAとの連携により、給食用に使用する農産物の情報交換を行うことで、市内の農産物の生産状況を把握し、市内産の納入を推進して行く
96	放課後子ども教室参加者数★	710人	600人	382人	63.7%	番外編講座の実施等により、現在開設している教室の継続支援と参加促進を図るとともに、未開設の小中学校区において新規教室の開設準備を進めるため、学校運営協議会等様々な場面で事業の周知啓発に努める。
97	「特別支援教育の理解が進み、支援体制の充実が図られている」と回答した割合※「本校は特別支援教育の理解が進み、支援体制の充実が図られている」と回答した学校の割合★	51.9%	63.0%	85.2%	135.2%	支援員の充実した配置により、手厚い支援が受けられる環境が整いつつある。多様化する子どもへの実態に応じた支援方法を学ぶための研修会を行い、支援の内容の充実を図る必要がある。学校看護師においても、医療との連携を図りながら、様々な場面に対応できるよう拡充していきたい。また、本人や保護者の思いを大切にしながら、特別支援学級や通級指導教室の実態に適した設置を進めていきたい。
98	地区交流センター講座年間受講者数★	8,000人	7,760人	5,221人	67.3%	新型コロナウイルスなどの影響で、37講座が中止となり、受講者数が減となったが、受講率は91%を超える高い水準を維持できた。引き続き、SNSを活用した積極的な情報発信を行うとともに、対面のみでの生涯学習講座だけでなく、オンライン学習の推進も検討していく。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
99	共同講座の参加大学数	6大学	4大学	6大学	150.0%	講座の参加者数(高校生)が伸び悩んでいるため、令和4年度に静岡大学の協力で試行したフィールドワークの実施大学拡大など事業の実効性を高める取組みを行う。
100	健康マイレージ達成者数 【H24年度より累計】★	5,500人	4,500人	4,189人	93.1%	新規参加者の獲得に向けて、企業における健康経営での活用や各種イベントでの啓発活動、各行政施設でのチャレンジシートの配架、市ホームページを活用した周知を図り、健康無関心層の世代などへのアプローチに取り組んでいく。
101	保健講座等年間参加者数	5,870人	5,833人	2,098人	36.0%	コロナ禍により保健委員活動に制限があったが、今後は、保健講座などの開催に向けて保健委員活動を支援していく。 活動の指標を参加者数ではなく、講座実施回数に変更するなど、健康について考える機会自体を増やすことも検討していく。
102	健康経営プロジェクト参加者数 【R1年度より累計】★	330人	230人	978人	425.2%	藤枝商工会議所や岡部町商工会などと連携を図りながら、事業所の健康づくりの普及に取り組んでいく。
103	小中学生の「食事をすることが楽しい」の回答率 ※食育授業や給食時の栄養教諭訪問指導等におけるアンケートで「食事をすることが楽しい」と回答した児童の割合★	63.0%	62.0%	45.5%	73.4%	栄養教諭により市内小中学校に積極的に食育指導に取り組んでいく。また、食育推進委員会において成果と課題である「健康的な食のあり方」について、「食の楽しみ」につなげることを意識した食育授業、指導者研修会により、次年度に向けた指導の改善を図っていく。
104	がん検診受診率★	30.0%	29.4%	22.3%	75.9%	国保加入時の受診案内、国保税当初賦課決定通知への受診案内チラシを同封、未受診者への再勧奨通知の送付のほか、SNS、パープルビジョンなどによる周知を強化する。
105	特定健診受診率★	60%	60.0%	36.6%	61.0%	国保加入時の受診案内、国保税当初賦課決定通知への受診案内チラシを同封、未受診者への再勧奨通知の送付のほか、SNS、パープルビジョンなどによる周知を強化する。



NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
106	特定保健指導受診率	66.0%	64.0%	未確定		特定保健指導対象者で、平日に指導が難しい対象者に対し、特定保健指導が受けやすくしていく(杏林堂薬局への委託)。 特定健診の受診率は上昇しているが、コロナ前の受診率には戻ってきていないため引き続き受診勧奨行う。
107	市立総合病院の正規常勤医師数	130人	125人	128人	102.4%	1人体制となっている診療科(脳神経内科、病理診断科)を中心に更なる充実を図る。
108	市立総合病院の看護師数	610人	610人	601人	98.5%	適正な看護師数を確保するため、離職防止に努める。
109	総合病院の紹介率★	74.5%	73.5%	72.8%	99.0%	院内に立ち上げた紹介率向上WGにより対策を強化し、18時まで紹介受付時間の延長を継続実施することにより、年間16,800件(月1,400件)の紹介件数を目指す。
110	総合病院の逆紹介率★	120.3%	118.3%	117.7%	99.5%	医師会へ協力のお願いと受診者への周知、地域の診療所の体制を院内周知と年間18,000件(月1,500件)の逆紹介件数を目指す。
111	市民体育館・市民武道館の年間利用者数★	192,000人	188,000人	96,248人	51.2%	指定管理者と連携し、施設の利便性向上や効率的・効果的な管理運営を図り、誰もが身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに努める。これまで、コロナ禍で制約を受けていた各種教室や大会・イベント等の通常開催に向けて、積極的に取り組んでいく。
112	全国大会、国際大会への出場者数 ※本市への申請件数★	115人	115人	132人	114.8%	全国大会や国際大会など主要な大会で活躍できるよう、各競技団体等と連携し、競技力向上に向けた取り組みに対し支援を行う。また、「スポーツ大会出場奨励金」制度の活用を促し、更なるスポーツの振興を図る。
113	静岡県トレーニングセンター及びナショナルトレーニングセンターへの輩出人数 ※15歳以下の男女サッカー選手を対象★	6人	6人	15人	250.0%	市サッカー協会と連携し、更なる選手の育成を後押しし、選手だけでなく指導者等のレベルアップにも繋げていく。
114	芸術文化体験事業の新規体験・参加者数【H30年度より累計】★	520人	380人	856人	225.3%	文化活動拠点である市民会館での文化事業を充実させ、市民が文化活動に参加する機会を提供するほか、様々なツールを活用した情報提供を行う。

NO	KPI名	最終目標値	R4目標値	R4実績値	達成率	今後に向けた改善点
115	郷土博物館・文学館の入館者数★	143,490人	140,890人	130,099人	92.3%	新型コロナが5類移行したことから、魅力的で充実した展示会やイベント講座を開催することで、子供からお年寄りまで幅広い世代の利用促進と満足度向上をはかる。
116	ディーセントライフ活動人数★	1,040人	1,000人	1,034人	103.4%	イベントのボランティアだけではなく、年間で募集しているボランティア情報の集約を行い、HPやメルマガを通してできるだけ多くの活動機会の提供をしていく。
117	市民活動団体数★	580団体	580団体	561団体	96.7%	令和4年度に実施した実態調査から見えてきた課題の分析・解決へ向けての団体支援策を検討していく。
118	男女共同参画推進事業所認定数【H23年度より累計】★	43事業所	39事業所	38事業所	97.4%	男女共同参画推進事業所制度の廃止に伴い、積極的な周知を行わなかったため。新たに創設する「働きやすい職場環境認定事業所制度」へ円滑に移行できるよう経済団体、金融機関及び当事業所と連携し、働きやすい職場環境づくりの機運醸成を図る。
119	日本語講座の受講者数★	280人	240人	384人	160.0%	経済活動の再開に伴い外国人のさらなる受講者数の増加が見込めた。今後は初級、中級及び上級の3クラス設定の意義を講師との間で確認し、場合によっては、受講者数に応じて初級及び中級の2クラスの運営を再考する。
120	国際交流イベントへの参加者数★	450人	350人	196人	56.0%	新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模イベントが開催されなかったため、参加者が目標値を大幅に下回った。今後は新型コロナの5類移行に伴い、行動制限が無くなったので在住の外国人と日本人の交流機会を創出するため、新たに「Fujiedaワールドフェスタ」を関係団体と連携し、独自性のあるイベントとして開催する。